

いただいた主なご意見(要約)

番号	議員定数や議員報酬等に関するご意見
1	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状で支障がなければ19人とする。 ・RWC、三陸沿岸道路建設、復興予算が一段落ち着いた段階で再検討が妥当。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状維持で問題ない。 ・国税庁統計では民間企業の平均賃金は平成9年から平成28年まで一割程度減少している。民間に比べて議員報酬の下げ幅が5.5%程緩やかになっている。
2	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14～15人で十分に活動できる。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議長45万、副議長40万、議員35万。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・75才をもって定年とする定年制の導入。 ・年間、任期中の議員活動を広報で公表する。 ・議会活性化は少数精鋭である。ただ生活や活動が成り立つ報酬は必要である。 ・サラリーマン議員と言われている。今問われるのは議員の資質である。 ・会派を超えて、テレビ局と連携しお見合い番組を行うとか、鶴住居から釜石鉄鉱山まで桜や紅葉ロードにするとか、釜石を盛り上げるやり方はたくさんある。 ・市民、地域が何を求め困っているか、待つのではなく、地域を一軒一軒聞いて歩きなさい。
3	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知恵と行動力があれば、17人でもできる。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の多くは年金生活でぎりぎりの生活で苦しい思いをしていることを忘れないように。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設を使い、3～4カ月に1回、各会派2名程度で出席し市民の声を聞くべき。 ・議会改革を進めるべき。
4	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回改選以降8年は12～15人とする。今後人口増が望めないことを直視し、県内の議員定数や報酬と比較する必要はない。議員自ら歳出を減らす第一命題である。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬を引き下げる。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員と市民の不協和音の根源は著しい議員の資質低下とモラルの欠如に他ならない。 ・今後、毎年500人の人口が減少し、高齢化をどう分析し市営運営するのか。再建団体に転落するか、危機感を持って議員行動するのか。統一性の無い箱物が全会一意で可決するプロセス、メンテナンス費用が行政予算を圧迫することを議員はどう見ているのか。 ・釜石市の行政スタンスは、斬新なアイデアを発信できない魅力のない土壌である。限られた歳入から報酬をいただく議員風土記を180度変えないと沈没の一途である。何をしたくて議員になったのか、モラルを磨くべき。 ・行政の第一声は「予算がない」。ならば行政給与や議員報酬の減額条例改正すべきである。 ・財政危機は民間企業の施策を学ぶべきである。 ・会派の総論より議員一人ひとりの報酬UP理由を公開すべき。 ・我が身可愛さを捨て、短期、中期、長期視点に立ち、地域のために奉仕する議員の原点に見合う報酬を切望する。
5	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15人で必要十分である。議員の質を高める努力が必要である。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15人程にした場合、はじめて報酬増について市民の賛同が得られるものである。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回選挙のように定員20人に22人立候補、当選率90%では正当な選挙と言えない。 ・現在の議員報酬では有能な人が立候補しようとは思えない。適正に定数を減らすことが可能であれば北上市程度まで増額して問題ない。 ・高校生以下の子供がいる場合は、子供1人につき、2万円程度の子供手当を支給すれば若い世代の政治参加につながる。
6	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15人が妥当と算出する。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二元代表制の市議会の存在意義は、地域住民や広く市井の声を行政に反映させ、市政を監視し、問題があれば厳しく追及することです。可視化されている定例議会で、質問が正鵠を得ているか、行政をチェックしているかで議員は評価されます。 ・①現在の定数は20人、評価できるのは30%、一段下げて評価が認められるのは40%の14人。②全国市議会議長会のデータでは17人。③人口が急減する当市の身の丈に合った数は、2025年人口29,382人とし17人。④2030年人口26,545人とし15人。⑤2040年人口21,503人とし12人。①～⑤の平均値は15人。

いただいた主なご意見(要約)

番号	議員定数や議員報酬等に関するご意見
7	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内各市や類似市の人口、財政規模、面積の平均、改選時は震災復興も落ち着いていることを勘案し、15人の少数精鋭でよい。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨今地方議員になりたがらない地方都市が増え、当市もその傾向がある。思い切って定数を削減し、その分報酬を手厚くする。35万円超でもよい。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去に傍聴したが、白熱した議論がなく、市側の答弁に対し討論がほとんどない。市議会だよりでも討論の痕跡がなく不自然である。 ・議会が開かれていないときは何をしているのか。町内会や地域会議役員会にも顔を出していないし、地域の情報収集も見たことがない。 ・地方議員の不祥事が多く、当市も飲酒運転があった。市民の疑問に市議会だよりで応えたり、各議員の成果報告を義務付けるなどの改革も必要。
8	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来人口が減少すること、全国と同規模団体に比べ2～5人多いこと、震災により将来も財政的に苦しいことを考え、2～3人減らすべきである。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上げることは考えられず、むしろ数万円下げても十分すぎる。 ・稼働日数は、年平均80～85日で、1カ月当たり7日間である。 ・財政規模が類似している県内他市と比べて1～3万円高い。 ・当市の議員は、議案審議、議案提出、行政チェック、疑問や問題点の追及はほとんど行っていないように見える。自分たちが知らないことの質問(質問のための質問)に終始している。 ・震災により将来も財政的に苦しい。
9	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17人、その後の情勢次第で15人も考慮。 ・議員は我々が責任ある一票を投じその任を委託している。決定後にその経緯を説明すれば納得する。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定数減になっても、現在の総報酬を維持し配分する。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公私ともに発言、活動が議員の資質。 ・他市で問題になった活動費など、関連する収支は明朗なものとして提示する。 ・復興の道筋が見え、今後、変革が必要。若い層の不足を憂うだけでなく、高齢者とともに歩む福祉社会の充実、生活基盤の安定を目指しては。
10	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15人。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬で若い人を動機づけることはできない。志を期待するしかない。志のある若い人ができるだけ議員活動に集中できるように配慮するとの意味で、議員報酬を上げることを考える。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、人口が減少する前提では議員定数削減が望ましい。釜石市の最重要課題は、市の活性化など将来の問題である。将来をより深刻に考える若い志のある人の参加が望まれる。若い人が議員活動に集中できるような制度にするべき。 ・財政規模が減少することを考えると、定数削減は自然。 ・面積が広いので議員数が必要との意見には賛同できない。 ・品質管理の考え方では、世間一般から逸脱することは何か問題がある場合だが、釜石市の置かれている状況から考えると、工夫が必要である。議員の質が重要なので、若い、志や創造力があり優秀な議員の参加が望まれる。
11	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15人とする。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25万円～30万円。 ・議員活動、資質の関係であり、また復興途中で議員報酬の話題はどうか。 ・復興完成後の話であり、議員活動が市民にどう写っているのか。 ・今後、大槌町議会との会議も多くなる。大槌町は20万円くらいと聞く。他行政を参考にするのはなく、他行政のモデルになるべき。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会審議、行政チェック、市民生活調査、成功事例調査、視察、市民に対する議会報告などあると思うが、任期中の議員活動が見えてこない。 ・財政規模や面積は関係ない。 ・仮設住宅に6年いたが、議員活動を目にしたことがない。 ・議員は行政チェック知識を有し、市民調査等にフットワークの優れた人になるべき。 ・各審議会、地域会議を充実、活用すれば、議員定数は少数精鋭でよい。 ・アンケート募集前に、議員活動報告、地域会議の話題提供をするべきである。 ・議員は市民の代表であり、特定の地域、支持者の代表ではない。

いただいた主なご意見(要約)

番号	議員定数や議員報酬等に関するご意見
12	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17人とする。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状のままとする。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討するに提供された資料が少ない。 ・会派の考え方の検討方向が不確実である。次回選挙のことなのに、その先の改選期も触れている。 ・議員報酬は、若年男子又は女子の生活給であれば、兼業議員には過大な報酬になるし、所得に応じての支給では平等性に欠ける。 ・以下の改革を望む。 <ol style="list-style-type: none"> ①常任委員会で議案審議し、傍聴許可し、議事録を公開する。 ②一般質問を1人1時間から2時間にし、議論を深める。 ③本会議を午前、午後の通日開催とし、集中審議する。 ④傍聴人がほとんどいない。傍聴人を増やす努力をする。 ⑤特別委員会の資料を傍聴人に即日提供する。 ・議会改革の検討資料として、D I D (人口集中地区)を確認し対応する。リアス式海岸なので三湾を総面積内にとらえ対応する。三陸道など高速道と6つのインターチェンジを活用する。
13	<p>【議員定数について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15人が将来を見据えた数値である。 <p>【議員報酬について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・削減する。 <p>【提言、考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石市の人口ビジョンでは、人口は現在36,078人、2040年には21,503人。(昨年の岩手日報では18,000人台) ・釜石市の平均年収265万7237円、釜石市職員の平均年収は570万4774円。日本公務員724万円、国民平均給与額412万円。欧米諸国では公務員と国民平均給与額に差がないが、日本は官民格差が生じている。公務員は人事院が提案している。人事院も公務員であり民間企業と大きくかけ離れた勧告が行われている。 ・将来、釜石はどうあるべきかを論じるべき。2040年人口は21,503人で出されている。 ・釜石市職員の年収は高すぎ、一挙に引き下げは難しいが、今から徐々に引き下げを行い、民間に近づける努力をするべき。扶養手当など民間企業にない手当を削減すべきである。 ・現状の他市町村の数値を並べ、論ずるのではなく、20年、30年先を見据えた釜石市を議員自身を削り、努力することが大切である。議員定数はもちろんのこと、議員報酬増は考えられない。むしろ削減、議員が率先垂範し、釜石市職員の給与削減方向に向かっていただきたい。

ほか、定数15人、報酬増に賛成意見3件をいただいています。